

もし、感染者が
出てしまったら…

感染拡大
防止対策

施設編

感染を広げない

取組みが重要です

おうとぶつ
嘔吐物や
排せつ物の処理は
慎重かつ
スピーディに。

ノロウイルスは乾燥すると空気中に舞い上がり、それが直接口に入って感染を広げてしまうことがあります。嘔吐物や排せつ物の処理は乾燥させないことがポイントです。また、処理中はもちろん終わった後も換気をしっかりして、ウイルスを外に出すことも肝心です。

●嘔吐物の処理方法



使い捨ての布やペーパータオルで外側から内側に、ウイルスを飛ばさないように静かにふき取る。

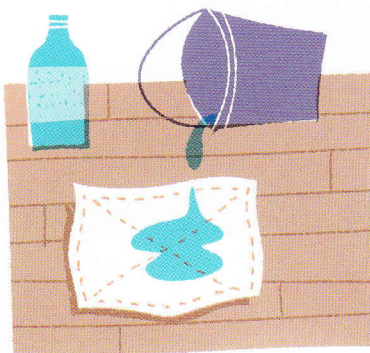


ふき取ったものは、すぐにビニール袋の中に。(0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れておけば、より安心です。)

10分程度放置したら水ぶきをしましょう。



汚染された場所は、0.02%次亜塩素酸ナトリウムを浸した布などで消毒を。



作業時はマスクとビニール手袋、エプロンが必須アイテムです。



有効な換気の仕方

- ◆ 空気の出入り口は、できるだけ対角線になるように。
- ◆ 換気扇を使うときも、あれば反対側の窓を開ける。
- ◆ 換気口の前の障害物は取り除く。
- ◆ 普段から換気装置の汚れや目詰まりのケアを。

